

(社)日本原子力学会 標準委員会
第45回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日時 2010年12月1日(水)13:30～17:10
2. 場所 (独)原子力安全基盤機構 別館11A,11B,11C 会議室
3. 出席者(順不同, 敬称略)(開始時)
(出席委員)有富(部会長), 加藤(幹事), 天野, 猪俣, 内山, 大久保, 加藤, 金木, 川上, 木倉, 坂下, 櫻井, 白井, 高橋, 中島, 新堀, 藤田, 柳原, 山本(19名)
(代理出席委員)杉山(大輔)((財)電力中央研究所/河西(副部会長代理), 山田(関西電力(株)/浦上委員代理), 杉山(崇)(中部電力(株)/仲神委員代理), 川村(経済産業省 原子力安全・保安院/中津委員代理)(4名)
(欠席委員)近藤, 杉浦, 長崎, 深澤(4名)
(常時参加者)菊池(1名)
(説明者)吉原(L L W埋設施設検査方法分科会幹事)
相原(L L W廃棄体等製作・管理分科会委員)
藤原(ウラン・TRU取扱施設クリアランスレベル検認分科会幹事)
安念(ウラン・TRU取扱施設クリアランスレベル検認分科会副主査)
森本(返還廃棄物確認分科会幹事)
松本(輸送容器分科会幹事)
溝渕(輸送容器分科会常時参加者)
(7名)
(傍聴者)小林, 柏木, 池田, 安田(孝志), 佐藤, 小川, 北島, 川上, 鯉渕, 三浦, 安田(祐司)(11名)
(事務局)谷井
4. 配付資料
FTC45-1-1 第44回原子燃料サイクル専門部会議事録(案)
FTC45-1-2 第43回原子燃料サイクル専門部会議事録(案)(修正)
FTC45-2-1 人事について(専門部会)
FTC45-2-2 人事について(分科会)
FTC45-3-1 第44回原子燃料サイクル専門部会・第42回標準委員会のコメント対応について
(余裕深度処分施設の施設検査方法(案))
FTC45-3-2 “余裕深度処分施設の施設検査方法”の新旧比較表
FTC45-3-3 “第二種廃棄物の事業に関する安全審査の基本的考え方”と“余裕深度処分施設の施設検査方法との整合性検討資料
FTC45-3-4 余裕深度処分施設の施設検査方法[これまでの学会審議を反映した標準案完本版]
FTC45-4-1 「トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法(案)」の決議投票の結果について
FTC45-4-2 トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法(案)の標準委員会書面投票コメント一覧表
FCT45-4-3 トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法(案)の

標準委員会書面投票コメントへの対応の変更点比較表

- FCT45-4-4 トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法 (案)
- FTC45-5-1 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法:201X”
書面投票結果及びコメント対応について
- FTC45-5-1-添付資料-1
“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法:201X”
原子燃料サイクル専門部会委員による標準原案書面投票(第二回目)のご意見とその対応
- FTC45-5-1-添付資料-2
“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法:201X”
標準委員会委員による標準原案書面投票でのご意見とその対応
- FTC45-5-2 “ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法:201X”
- FTC45-6-1 原子燃料サイクル専門部会決議投票の結果
「返還廃棄物の確認方法に関する基本的考え方(案)」
- FTC45-6-2 「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」改定標準原案に対する
原子燃料サイクル専門部会書面投票時の委員のご意見への対応(案)
- FTC45-6-3 返還廃棄物の確認に関する基本的考え方:201X 改定標準原案
- FTC45-6-4 「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」新旧対比表
- FTC45-6-5 【本報告】「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」改定の概要 (A3版)
- FTC45-6-6 【本報告】「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方」改定案(概要) (ppt版)
- FTC45-7 臨界安全管理分科会委員の承認審議結果
- FTC45-8-1 「臨界安全管理の基本事項:2004」の5年毎の既存標準改定の要否(改定不要)投票結果
- FTC45-8-2 「臨界安全管理の基本事項:2004」の5年毎の既存標準改定の要否(改定不要)
賛成意見対応
- FTC45-8-3 「臨界安全管理の基本事項:2004」の5年毎の既存標準改定の要否(改定不要)
意見付保留対応
- FTC45-8-4 「臨界安全管理の基本事項:2004」の5年毎の既存標準改定の要否(改定不要)
標準改定要否検討結果
- FTC45-9-1 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準:2006」改定案に関する中間報告について
- FTC45-9-2 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準:201*」(中間報告版)
- FTC45-9-3 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準:201*」改定内容表
- FTC45-10 原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況
- FTC45-11 標準委員会の活動状況

参考資料

- FTC45-参考1 原子燃料サイクル専門部会委員名簿
- FTC45-参考2 2011年春の年会(3/28-30)企画セッション

5. 議事内容

- (1) 出席者の確認

開始時、27名の委員のうち、代理委員を含め23名の出席があり、成立に必要な委員数(18名)を満足している旨が事務局から報告された。

(2) 前回議事録の確認

前回議事録(FTC45-1-1)及び傍聴者名を修正した前々回議事録(FTC45-1-2)が承認された。

(3) 人事について(専門部会人事)

事務局から、FTC45-2-1に沿って、阿部 昌義氏((財)放射線計測協会)の11月12日付けでの退任の報告がされた。

事務局から、FTC45-2-1に沿って、宮川 俊晴氏(日本原燃(株))の11月30日付けでの退任の報告がされた。

事務局から、FTC43-2-1に沿って、中島 健氏(京都大学)が臨界安全管理会主査及び代表者、柳原敏氏(福井大学)がLLW廃棄体等製作・管理分科会主査及び代表者として選任されたことが紹介され、決議の結果、承認された。

(4) 人事について(分科会人事)

事務局から、FTC45-2-2に沿って、LLW放射能評価分科会の北島 英明氏(一般社団法人 日本原子力技術協会)、大塚 伊知郎氏((独)原子力安全基盤機構)、本山 光志(日揮(株))、LLW廃棄体等製作・管理分科会の柳原 敏氏(福井大学)、相原 徹也氏(一般社団法人 日本原子力技術協会)及び竹野 正志氏(日本原子力発電株式会社)、LLW処分安全評価分科会の長谷川 信氏((独)日本原子力研究開発機構)並びに返還廃棄物確認分科会の山口 恭志氏(日本原燃(株))がそれぞれ委員として選任された旨の説明があり、決議の結果、承認された。

(5) 「余裕深度処分施設の施設検査方法(案)」安全審査指針への対応結果及び対応に伴う標準の見直しについて

LLW施設検査分科会幹事から、FTC45-3に沿って、余裕深度処分施設の施設検査方法標準(案)について、安全審査指針(2010年8月原子力安全委員会決定)との整合性検討に関するこれまでの学会審議の経緯、整合化に伴う標準修正案及び整合性検討結果などの説明があった。

この説明に対して、安全審査指針との整合化に伴う標準の修正案が表現上の修正か否について審議され、特に意見はなく、議決の結果、全員の賛成で修正案は表現上の修正であるとして、次回標準委員会へ報告することが決議された。

(6) 「トレンチ処分対象廃棄物の埋設に向けた取扱い及び検査の方法(案)」標準委員会投票結果及びコメント対応について

LLW廃棄体等製作・管理分科会の相原委員から、FTC45-4-1に沿って、標準委員会投票における意見付き反対票については対応案により意見付き保留に変更されたこと及び意見付き保留に対する対応案並びにその他のコメント対応案について説明された。

審議の結果、これらの対応案における修正内容は編集上の修正であるとして、次回標準委員会へ報告することが決議された。

主な議論は、以下のとおりである。

- ・大島委員の反対意見が賛成でなく、保留になったのは何故か。

→「飛散防止措置としての金属製コンテナの使用に関しては、廃棄物埋設地の安定の観点から、空げき、強度等に係る技術的な検討及び妥当性の評価が必要である」とのことから、保留とされたと考えられる。

- ・佐藤委員のコメント対応の結論は何か。

→最終的には、直接説明に伺い、標準の趣旨を理解していただいた。

- ・規制では施設に対して飛散防止措置を要求しており、廃棄物に対して直接要求しているものではないため、廃棄物を必ず金属製コンテナにこん包することは必須でないこと、標準では金属製コンテナでの梱包は運用上あった方が良くと判断した様な内容であること、などを理解した上で今後とも対応する必要がある。

- ・資料 4-3 において、変更点が多いが、内容的な変更はないか。

→文意を変えるような技術的な変更はない。

(7)「ウラン取扱施設のクリアランス判断方法(案)」標準委員会投票結果及びコメント対応について

ウラン・TRU取扱施設クリアランスレベル検認分科会(藤原幹事)から、FTC45-5-1に沿って、標準委員会投票は可決されなかったが、反対意見対応案により反対意見が解消されたこと並びにその他のコメント対応案について報告された。

審議の結果、コメント対応案における修正内容及び本専門部会での質疑の内容を反映した修正内容は編集上の修正であるとして、本会議で提出されたコメントを反映した内容を次回標準委員会へ報告することが決議された。

主な議論は、以下のとおりである。

- ・この標準で引用規格としている炉標準に記載されているので、箇条 9 での引用は不要であるとの説明であるが、箇条 2 の引用規格は、「その規格の一部を構成するために必要な JIS、国際規格又はこれらに準じる規範文書」を利便性のために列記したものに過ぎないので、直接引用又は参照する箇所毎に、引用の記載が必要ではないか。

→標準の書式編成上のことであり、事務局と相談して記載を検討する。

(8)「返還廃棄物の確認に関する基本的考え方(案)」原子燃料サイクル専門部会投票結果及びコメント対応について

返還廃棄物確認分科会の森本幹事から FTC45-6-1 に沿って、原子燃料サイクル専門部会投票は可決されたこと及びコメント対応について報告された。

審議の結果、コメント対応案における修正内容は編集上の修正であるとして、標準委員会へ報告することが決議された。

主な議論は、以下のとおりである。

- ・他の標準案で、2 引用規格の文章に、「引用規格と相違がある場合は、標準の規定を優先する」とのなお書きがあるものがあるが、引用規格と合っているといえない可能性があるなら、この標準にも記載しておいた方がいいのでは。

(9)「臨界安全管理分科会委員の承認」原子燃料サイクル専門部会投票結果

事務局から、FTC45-7 に沿って、原子燃料サイクル専門部会投票において全員が承認されたことが報告された。

(10) 「臨界安全管理の基本事項」の5年毎の改定要否の検討結果(改定不要) 原子燃料サイクル専門部会投票結果及びコメント対応について

事務局から、FTC45-8-1 に沿って、原子燃料サイクル専門部会投票において可決されたことが報告された。

さらに、事務局から、FTC45-8-2 に沿って、賛成意見に対する対応案が報告された。

中島標準担当委員から、FTC45-8-3 及び FTC45-8-4 に沿って、保留意見対応案について報告された。

審議の結果、これらの内容を標準委員会へ報告することが決議された。

(11) 「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準」(中間報告)について

輸送容器分科会の松本幹事から、FTC45-9-1 に沿って、また、溝渕常時参加者から、FTC45-9-2 及び FTC45-9-3 に沿って、「使用済燃料・混合酸化物新燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準」(改定)について中間報告の説明があった。

審議の結果、本会議で提出されたコメントを反映した内容を標準委員会へ報告することが決議された。

主な議論は、以下のとおりである。

・ p22 の 5 輸送容器の検査 5.1 検査を行う段階と検査項目において、“ただし、使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクについては、AESJ-SC-F002:2010 による。”の文章が附属書引用の前になっており、直前の附属書のみに対する説明になっているように見える。

→確認の上、必要に応じて記載を見直す。(輸送容器分科会)

・ 5 輸送容器の検査 5.1 検査を行う段階と検査項目の p23 の表 1 の伝熱検査の項目は“代表容器について直接確認するもの”となっているのに対し、p28 の“j) 伝熱検査 3) 検査方法”では記録確認で実施するような記載となっている。問題ないのか？

→確認の上、必要に応じて記載を見直す。(輸送容器分科会)

(12) 原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況

事務局から、FTC45-10 に沿って、原子燃料サイクル専門部会 分科会活動状況が報告された。

(13) 標準委員会の活動状況について

事務局から、FTC45-11 に沿って、標準委員会の活動状況が報告された。

6. その他

今回は平成 23 年 2 月 28 日 (月) と仮決めされた。